

## 「河川砂防技術研究開発」(平成24年度採択)

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
地震・洪水およびその複合災害に対する統合型河川堤防評価技術の開発 (研究期間: H24年～H26年)	名城大学 教授 小高 猛司	A
<b>&lt;研究概要&gt;</b> 対策優先度決定支援から数値解析による重要箇所の高精度評価までを含む, 統合型河川堤防評価技術の開発を行った. 具体的には, 以下の4テーマを設定して遂行した. ①合理的な河川堤防の耐震性評価法および浸透破壊解析手法の開発, ②室内試験による土質定数設定のガイドライン作成, ③樋門, 水門などの構造物周りのゆるみ領域を考慮した破堤危険度評価法の開発, ④信頼性解析による河川堤防の安全性評価における不確実性の定量的評価.		
<b>&lt;事後評価コメント&gt;</b> 4つの各テーマについて, それぞれで新たな有用な研究成果がみられ, 特に, 水の条件を含むなかでの地震動への応答解析の部分が進歩していることに加え, 土質定数の試験方法など実務に適用可能性のある提案がなされている点は評価できる. 研究目的は達成され, 十分な研究成果があったと言える. 今後, 得られた研究成果を学術的な知見で留めることなく現場の実務において活用されるよう更なとりまとめの工夫 をすること及び4つの各テーマの相互関係をわかりやすく整理することを期待する. なお, 今後さらに研究を進展させる過程において, 計算プログラム等の成果の一部をオープン化することについても検討することを期待する.		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され, 十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され, 研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い